

令和2年度事業報告

自 令和 2年 4月 1日
至 令和 3年 3月31日

令和2年度事業報告

自 令和 2年 4月 1日

至 令和 3年 3月31日

I 事業の状況

1 概況

令和2年度は、あづま総合運動公園、福島空港公園及び逢瀬公園・福島県総合緑化センターについては第4期の指定管理者として、福島市民家園については第3期の指定管理者として、それぞれ2年目の管理運営に当たり、引き続き、利用者に快適かつ安全な施設を提供するため、定期的な巡回や点検など施設の適切な維持管理や緑化の推進に取り組んだ。

しかしながら、年度当初から新型コロナウイルスの感染拡大により公園の運営管理について多大な影響があったところである。

あづま総合運動公園では東京五輪の開催が延期となったほか、4月7日には特措法に基づく国の緊急事態宣言が出されたことから、イベント等の中止、加えて屋内施設及び有料施設等の利用についても全面休止となった。

宣言解除となった6月には、当協会が作成した「新型コロナウイルス感染拡大防止ガイドライン」により、職員と利用者の感染防止対策を徹底した上で各施設の利用を再開し、プロスポーツにおいては、ガイドラインに沿った運営により、J3公式戦18試合、B2リーグ公式戦2試合が行われた。年が明けた1月13日から2月14日にかけては、福島県新型コロナウイルス感染拡大防止対策の改定を受け、体育館等での午後8時までの時短営業を余儀なくされた。その後もコロナ禍における新しい生活様式を踏まえた対応が必要となっている。

事業の実施に当たっては、感染対策の徹底などガイドラインに沿った事業内容の見直しを行うとともに、コロナ禍における利用者ニーズを踏まえ、公園での健康づくりのための各種事業を展開した。

スポーツの普及指導については、あづま総合運動公園において、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、ふくしま健康マラソン大会、あづま荒川クロスカントリー大会等は開催中止となったが、子どもを対象とした水泳や球技などの各種スポーツ教室、一般を対象とした公園健康づくり教室の開催に加え、テニス大会やウォーキング大会等については、十分な感染防止対策に取り組んだうえで開催した。また、体育館では平日昼間の利用促進を目的とした平日割サービス、トレーニング室では継続利用を促す月会員サービス等に取り組むとともに、庭球場では前年度に続き涼しい時間帯での利用を促す「夏季週末早朝営業」、さらには補助陸上競技場で週末夜間のランニング等の利用を推進する「公園ナイトラン」を初めて開催した。

レクリエーションの普及指導については、あづま総合運動公園において、「春の感謝デー」、「ふくしま手づくりマルシェ」、「あづまT e s h i — g o t 市場」等の開催は中止となったが、「あづまちびっこパーク」については開催時期を6月から9月に変更して開催

した。また、サイクルスポーツ広場では、夏季に熱中症対策としてミスト装置を設置し利用サービスの向上を図った。

逢瀬公園・緑化センターでは、地域関係団体との連携により開催していた「逢瀬公園さくらまつり」や「キャベツ餅 MUSIC LIVE」等を中止としたが、体験会や教室などについては参加募集人数を減らし、開催時期を変更するなどして例年並みに開催した。新型コロナウイルス感染拡大にもかかわらず、気分転換や運動不足の解消、自然とのふれあいを求めて多くの散策者が訪れ、過去最高の入園者数を記録した。

福島空港公園においては、「空港公園まつり」や「福島空港公園 handmademarket ソライチ」などのイベントは中止としたものの、「ノルディックウォーキングで健康になろう」、「第13回空のみちウォーク大会2020」などは感染症防止対策を講じたうえで実施し、また、個人参加型のイベントや各種体験会を開催したほか、子ども向け環境学習「みどりの楽校」、公園の魅力を活かした「観桜会」などに取り組んだ。

民家園では、年中行事などほとんどのイベントを中止としたが、一方でNHK朝ドラ「エール」の放送があったことなどから、過去最高の来園者数を記録した。

緑化の推進普及においては、公園施設の利活用を図るための「あづま香りのバラ園まつり」は中止としたが、「サクラ、イチョウ等の四季のライトアップ」、「公園の落ち葉プール」等のイベントについては開催することができた。

また、東京オリンピック開催により県内外や国外から訪れる多数の来園者に対し、お越しいただいたことへの感謝の気持ちや福島県と公園の魅力をわかりやすく伝えるため、地元福島西高校の生徒らの協力を得て「ふくしま&あづまウェルカムボード」づくりに取り組んだ。

しかしながら、東京オリンピックの野球とソフトボールの競技が延期となったことを始め、あづま球場を活用した大規模なコンサート等、予定されていたイベントのほとんどは新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止を余儀なくされた。

他に、あづま総合運動公園では、水素燃料電池システムが設置され、その保安管理・PR事業を受託し、施設の維持管理及びPR事業に取り組んでいる。

また、新型コロナウイルス感染防止対策及び便益施設の利便性向上を目的とした都市公園トイレ環境改善業務を福島県から受託し、施設内外のトイレについて、洋式化及び手洗い用自動水栓への改修工事を進めている。

* 以下、「あづま総合運動公園」を「あづま」、「福島空港公園」を「空港」、「逢瀬公園」を「逢瀬」、「福島県総合緑化センター」を「センター」、「福島市民家園」を「民家園」という。

II 事業概要

1 スポーツ・レクリエーションの普及指導及び体力の増進に関する事業【公益目的事業】

(1) スポーツの普及指導事業

1) スポーツ教室

新型コロナウイルス感染拡大の影響により一部の教室は中止としたが、感染防止対策を行ったうえで、子どもを対象とした「小学生初心者水泳教室」や大人を対象とした「ワンポイント水泳教室」、「親子で楽しむからだあそび」、「季節を感じるウォーキング教室」等のスポーツ教室を開催し、県民の運動意欲の高揚に資するとともに、公園施設利用者の増加に努めた。

| 場 所 | 事 業 名 | 対 象 | 実 施 日 | 回 数 | 延べ参加者数 |
|---------|---------------------|-----------------------|-------------------------|------------------|--------|
| あづま | あづまガールズサッカースクール | 小学生～中学生の女子 | 月2回水曜日 6～3月 | 16回 (※8回中止) | 161名 |
| | 子どもハンドボール体験会 | 小学生 | 6～12月 | 4回 (※2回中止) | 50名 |
| | 公園健康づくり教室 | 一般 | 9～3月 | 11講座 | 122名 |
| | ワンポイント水泳教室 | プール利用者 | 10～3月 | 全22回 | 139名 |
| | 季節を楽しむウォーキング教室 | 一般 | 9～10月 | 4回 | 37名 |
| | アシックスランニング教室 | 一般 | 11/21 | 1回 | (※中止) |
| | 親子で楽しむからだあそび | 幼児・親 | 7月11日 3月20日 | 2回 | 34名 |
| | 小学生初心者水泳教室 | 小学生 | 9～3月 | 6日×3期 (※2期中止) | 444名 |
| | 小学生陸上競技教室 | 小学生 | 4/8～4/24 | 4日×1期 | (※中止) |
| | 小学生一輪車教室 | 小学生 | 9/27 | 1回 | 19名 |
| 小学生体操教室 | 小学生 | 1/6、9、10、 13、16、17 | 6日×1期 | (※中止) | |
| 空 港 | ノルディックウォーキングで健康になろう | 一般 | 4月～3月 | 全24回 | 333名 |
| | 空港公園でヨガ | 一般 | 4/11、6/13、 8/1、10/10 | 3回 | 50名 |
| 逢瀬、センター | ノルディックウォーキング体験教室 | 一般 | 4月～3月 | 全48回 | 474名 |

(※中止)：新型コロナウイルス感染拡大の影響による中止

2) スポーツ大会

新型コロナウイルス感染拡大の影響により一部の大会は中止となったが、感染防止対策を行い、パークゴルフ大会を主催するとともにウォーキング大会、サッカーフェスティバルなどを各種スポーツ団体と共催し、県民のスポーツ参加に寄与した。

| 場 所 | 事 業 名 | 対 象 | 実施日 | 延べ参加 選手数 |
|--------------------------------------|--|----------------|----------|-------------|
| あづま | 第 36 回福島市スポーツ少年団 バレーボール競技大会 | 小学生 | 4/25、26 | (※中止) |
| | 第 9 回あづま総合運動公園チーム対 抗テニス大会 (人工芝完成記念大会) | 一般 | 5/3 | (※中止) |
| | 第 36 回全国小学生陸上競技交流大 会県北地区予選会 | 小学生 | 6/6 | (※中止) |
| | 第 11 回あづま総合運動公園杯 県北マスターズテニス大会 | 一般 | 5/28 | (※中止) |
| | 第 13 回あづまカップ パークゴルフ大会 | 一般 | 9/3 | 219 名 |
| | 第 36 回全国小学生陸上競技交流大 会福島県選考会 | 小学生 | 7/5 | (※中止) |
| | 陸上競技投てき・跳躍講習会 | 中学生～ 一般 | — | (※中止) |
| | Me&You 実行委員会交流戦 | 小学生 | 7/18、19 | 191 名 |
| | 第 25 回ミニバスケットボール チビっ子フェスティバル | 小学生 低学年 | 9/12、13 | 280 名 |
| | 第 16 回西方部親善木球大会 兼あづま杯木球大会 | 一般 | 9/5 | 30 名 |
| | 2020 ふくしま健康マラソン大会 | 幼稚園児～ 一般 | 10/18 | (※中止) |
| | 第 43 回総合運動公園庭球場オー プン記念ダブルステニス大会 | 小学生、中 学生、一般 | 10/18、25 | 184 名 |
| | 第 28 回あづまカップ 福島市ゲートボール交流大会 | 一般 | 10/29 | 40 名 |
| | 第 18 回あづまの郷ウォーク大会 | 一般 | 11/3 | 988 名 |
| うつくしまふくしま第 43 回福島県 小学生バレーボール選手権大会 | 小学生 | 11/28、29 | 350 名 | |

| 場 所 | 事 業 名 | 対 象 | 実 施 日 | 延べ参加 選手数 |
|------------------------------------|---------------------------------------|------------|--------------|-------------|
| あづま | 第 23 回あづま荒川 クロスカントリー大会 | 小学生～ 一般 | 12/13 | (※中止) |
| | 第 20 回あづまジュニア体操競技 大会 | 小学生 中学生 | 1/23、24 | (※中止) |
| | あづまU-12 ガールズフットサル 2021 | 小学生 女子 | 2/13 | (※中止) |
| 空 港 | 第 14 回福島空港公園杯 少年フットサル大会 | 小学生 | 10/24, 25 | 500 名 |
| | 須賀川市大東地区球技大会 (グラ ウンド・ゴルフの部) | 一般 | 10/12 | 120 名 |
| | 第 29 回福島県ターゲット・バード ゴルフ大会 | 一般 | 9/17 | (※中止) |
| | 第 17 回福島空港公園杯 県南マスターズテニス大会 (記念) | 一般 | 9/10 | (※中止) |
| | 第 14 回福島空港公園杯 グラウンド・ゴルフ大会 | 一般 | 10/30 | 400 名 |
| | 第 11 回福島空港公園杯 8 人制ジ ュニアサッカーフェスティバル | 小学生 | 11/3 日程変更 | 250 名 |
| | 須賀川市市民体育祭 サッカー競技小学生大会 | 小学生 | 10/17, 18 | 350 名 |
| 第 9 回福島空港公園 秋季選抜 ジュニアシングルステニス大会 | 中学生 高校生 | 10/17, 18 | (※中止) | |
| 逢 瀬、 センター | 第 11 回ノルディック ウォーキング大会 in 郡山 2020 | 一般 | 10/25 | 90 名 |

(※中止)：新型コロナウイルス感染拡大の影響による中止

3) ニュースポーツ普及指導事業

① 体験会の実施

春の感謝デー等の開催中止に伴い、予定していたグラウンドゴルフ、ディスクゴルフなどの体験会についても中止とした。

② 器具貸出し

園内でのニュースポーツ活動、地域住民への器具貸出しを実施した。

(あづま 貸出件数 延べ 30 件)

4) 他団体連携によるスポーツ普及指導事業

スポーツ関係のNPO法人、各種競技団体などと協働でシニアスポーツ相談及びウォーキング大会を開催し、県民の健康増進に努めた。

| 場 所 | 事 業 名 | 内 容 |
|-----|---------------------|---|
| あづま | シニアスポーツ相談室の運営 | シニア世代の健康増進の一助として、スポーツ・レクリエーション活動に関する情報を継続提供。相談件数 129 件。 |
| | 第 18 回あづまの郷ウォーク大会 | 福島県ウォーキング協会や福島西地区行政区等と協働で開催。11/3、参加者数 988 名。 |
| 空 港 | 第 13 回空のみちウォーク 2020 | 地域の団体と協働で空港公園や空港周辺を歩くウォーク大会を開催。11/8、参加者数 500 名。 |

5) 職員が有する能力及び資格を活用したスポーツ普及指導事業

公園資源や職員の持つ資格や技術を活用し、県民の健康づくりに寄与する事業を実施した。

- ① 水泳指導（小学生初心者水泳教室、ワンポイント水泳教室、水連合宿）
- ② アーチェリー指導（合宿）
- ③ トレーニング指導（トレーニング室等）
- ④ 陸上競技指導

6) 月会員・半年会員・年会員サービス事業

① 体育館・陸上競技場トレーニング室

期間内において1日2時間まで使用可能な会員サービスに取り組み、トレーニング室の継続利用者の増加を図った。登録者数は、体育館トレーニング室では月会員延べ556名（一般324名、高校生5名、シルバー227名）、半年会員延べ21名（一般10名、高校生0名、シルバー11名）、年会員延べ15名（前年度から継続11名、新規一般1名、高校生0名、シルバー3名）、陸上競技場トレーニング室では月会員延べ136名（一般124名、高校生0名、シルバー12名）、半年会員延べ1名（一般・高校生0名、シルバー1名）、年会員サービスの利用はなかった。

② 体育館室内プール

期間内において1日1回使用が可能な会員サービスに取り組み、室内プールの継続利用者の増加を図った。登録者数は、月会員延べ352名（一般99名、高校生1名、シルバー252名）、半年会員延べ3名（一般・高校生0名、シルバー3名）、年会員延べ8名（一般2名、高校生0名、シルバー6名）だった。

③ トレーニング室・プール共通

期間内プール1日1回、トレーニング室1日2時間まで使用可能なトレーニング室・プール共通の会員サービスに取り組んだ。登録者数は、月会員延べ22名（一般13名、高校生0名、シルバー9名）、年会員延べ2名（一般1名、高校生0名、シルバー1名）だった。

このうち、期間が長いこと等の理由から申込者数が伸びなかった年会員サービス、工事その他の理由により片方の施設が利用できない際の期限延長の取り扱いに苦慮したトレーニング室・プール共通の会員サービスは、それぞれ昨年11月末で新規受付を中止し、1月からは半年会員サービスを新たに導入し、サービスの向上に努めた。

7) その他のスポーツ普及指導事業

① 公園ナイトラン

コロナ禍における公園での健康づくりや補助陸上競技場照明施設の有効活用を目的に、参加者に自由に金、土日のナイトランを楽しんでもらうイベント「10月の週末は公園ナイトランを楽しもう」を開催した。（10/2～10/31の11日間、438名）

(2) レクリエーションの普及指導事業

1) レクリエーション事業

新型コロナウイルス感染拡大の影響により一部の事業は中止としたが、感染防止対策を行い「あづまちびっこパーク」や「公園の落ち葉プール」をはじめ各公園において体験型イベントを実施し公園のみどりの豊かさや楽しさを知っていただいた。また、県民の生涯学習の場として知識や技術を向上させるため、各種手づくり講座等を開催するとともに、一部の講座では仕事帰りに参加できるよう夜間の講座も開催した。

| 場 所 | 事 業 名 | 内 容 |
|--------------------|-----------------|---|
| あづま、空港、逢瀬、センター、民家園 | 公園フォトコンテスト | 公園で見つけたとっておきの風景や感動、驚きの様子を捉えた瞬間など、見た人が改めて公園の魅力に気づかされるような写真を募るフォトコンテストを展開。 第13回の入賞作品を展示(あづま、センター、空港、コラッセ福島)した。 第14回の作品を募集し、県内外から303作品の応募。 |
| | 公園PR動画コンテスト【新規】 | あなたの動画で公園に行きたくなくなる！公園がもっと好きになる！をテーマに動画コンテストを開催。 高校生や一般の方などから21作品の応募。 |
| あづま | みどりの総合講座 | 公園の特色を活かし、季節感のあるみどりに触れて学ぶプログラムで講座を開催。6回、参加者数77名。 |

| 場 所 | 事 業 名 | 内 容 |
|-----|---------------------|---|
| あづま | ボランティアとの協働による公園づくり | 公園ボランティアの人材育成を目的に、緑地管理の知識や技術指導を行った。また、企業団体の社会貢献活動の場となる機会を提供。みどりのボランティア（7回参加者数64名）、みどりのサポーター（7回参加者21名）、うつくしま園芸福祉の会（2回参加者数17名）。 |
| | 公園の落ち葉プール | 子供たちに身近な自然との触れ合いの場を提供するとともに、落ち葉の有効利用を目的とし、体育館入り口付近に落ち葉プールを設置。10/29～11/15日まで。利用者334名。 |
| | あづまバラ愛好会の活動 | ローズコンシェルジュとともに、バラ園を学ぶ場として活用し、技術指導などを行っている。班活動、自主活動を含め28回開催。参加者数1,048名。 |
| | 公園カルチャー教室、公園健康づくり教室 | 講師（講座）を募集し教室を年4期19講座開催。仕事帰りに参加できる夜の教室を複数回開催。参加者数293名。 |
| | 公園をもっと楽しもう講座 | （※中止） |
| | 春の感謝デー | （※中止） |
| | あづまちびっこパーク | 子供たちの健康増進と自然とのふれあいを目的に、身体全体を使い楽しく思いっきり遊んでもらうイベントをせせらぎ・桜の広場で実施。9/26、参加者数750名。 |
| | 冬のキッズフェスタ | （※中止） |
| | 子供たちの自然体験 | 福島県もりの案内人を講師にネイチャーゲームやクラフト体験のほか、空飛ぶ種の実験などを行った。8/10参加者数18名。 |
| 空 港 | とんぼ玉づくりを楽しむ | （※中止） |
| | 手づくりピザを楽しむ | （※中止） |
| | 門松づくり体験 | 21世紀建設館を会場に、門松づくり体験を開催。1回、参加者数15名。 |

| 場 所 | 事 業 名 | 内 容 |
|--------------|--------------------------|---|
| 空 港 | みどりの講座 | バラやハーブの育て方や楽しみ方、季節の寄せ植えをテーマに各教室を開催。8回（うち1回※中止）、参加者数148名。 |
| | 空港公園自然塾 | 木の枝クラフト、藍染などを実施。全5回（うち1回※中止）、参加者110名。 |
| | 空港公園で農体験 ～野菜づくりを楽しむ～ | みんなの野菜畑（植え付け（※中止）、芋掘り）を開催。2回（うち1回※中止）、参加者70名。 |
| | 空港公園の魅力再発見 | 公園の代表的な花木であるサクラを説明する観桜会を開催。1回、参加者数10名。 |
| 逢 瀬、 センター | 坂道ウォーキングによる健康増進 機会の発信 | 園内の起伏に富んだウォーキングコースの整備として、階段修繕、危険木の伐採や剪定、案内看板の改修を行った。また「コースマップ」をスタート地点や売店、休憩所に配置。 |
| | みどりを感じる手づくり講座 | 地元の陶芸家や染織家を講師として陶芸と草木染め、お正月のミニ門松づくり、お正月のリース作りの体験教室を開催。5回、参加者114名。 |
| | 国蝶オオムラサキ・甲虫観察舎の開設 | 国蝶オオムラサキとカブトムシなどの昆虫の観察舎を設置し、子どもたちの利用促進に努めた。6月中旬～8月末、入場者数2,786名。 |
| | 公園は僕らの宝島“逢瀬の森で遊ぼう” | もりの案内人の会県中支部と連携し、ナイトウォーク体験等を行ったまた、みどりのアレンジ体験や木の実のリースづくり体験会なども開催。全6回（5回）、参加者数139名。 |

(※中止)：新型コロナウイルス感染拡大の影響による中止

2) 他団体連携によるレクリエーション普及指導事業

新型コロナウイルス感染拡大の影響により多くの事業は中止となったが、各公園において感染防止対策を行い、地域の団体などと協働で「あづまの郷ウォーク大会」、「空のみちウォーク」などを開催し、地域の公園として地域の活性化等の役割を担いながら、公園利用者数の増加に努めた。

| 場 所 | 事 業 名 | 内 容 |
|-----|----------------------------|---|
| あづま | ボランティアとの協働による公園づくり | 公園ボランティアの人材育成を目的に、緑地管理の知識や技術指導を行った。また、企業団体の社会貢献活動の場となる機会を提供。みどりのボランティア（7回参加者数64名）、みどりのサポーター（7回、参加者21名）、うつくしま園芸福祉の会（2回、参加者数17名）。 |
| | ふくしま手づくりマルシェ | （※中止） |
| | ふくしまキッズ博 | （※中止） |
| | 第16回西方部親善木球大会兼第10回あづま杯木球大会 | 福島市西地区体育振興協議会と共催で初心者でも参加できる木球のオープン大会を開催。9/5、参加者数30名。 |
| | あづま银杏フェス | 黄葉のイチョウ並木道において、ライトアップや飲食出店を実施。あづま Teshi-got 市場やコンサートなどのイベントは（※中止）。 |
| | 第11回あづま Teshi-got 市場 | （※中止） |
| | 第18回あづまの郷ウォーク大会 | 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、参加者数を限定し各種の対策を講じた上で、福島県ウォーキング協会や福島西地区行政区等と協働で開催。11/3開催。参加者数988名。 |
| | パラスポーツ体験会 | （※中止） |

| 場 所 | 事 業 名 | 内 容 |
|-------------------|-------------------------------------|---|
| 空 港 | 第 13 回空のみちウォーク 2020 | 地域の団体と協働で空港公園や空港周辺を歩くウォーク大会を開催。11/8、参加者数 500 名。 |
| | ノルディックウォーキングで健康になろう | 空港公園の 3 エリアを活用し、ノルディックウォーキング体験会を開催。全 24 回（うち 2 回※中止）、参加者数 333 名。 |
| | 空港公園でヨーガ | 緑のスポーツエリアの天然芝を活用したヨーガの体験会を開催。4 回（うち 1 回※中止）、参加者数 50 名。 |
| | 第 9 回福島空港公園 handmademarket「ソライチ」 | （※中止） |
| | 空港公園の森ウォーキング | 地域の団体と共催で空港公園の広大な自然の中を歩く「空港公園の森のウォーキング」を開催。2 回（うち 1 回※中止）、参加者数 65 名 |
| | YOSAKOI in 空港公園 | （※中止） |
| | 十五夜茶会 | （※中止） |
| | 空港公園で農体験～野菜づくりを楽しむ～ | みんなの野菜畑（植え付け、芋ほり）を開催。2 回（うち 1 回※中止）、参加者数 70 人。 |
| | 空港公園子ども生け花教室 | 地域の子供たちを対象とした生け花教室を開催。3 回（うち 1 回※中止）、参加者数 50 名。 |
| | パラスポーツ体験【新規】 | （※中止） |
| スポーツターフでボール遊び【新規】 | （※中止） | |

| 場 所 | 事 業 名 | 内 容 |
|--------------|----------------------|---|
| 逢 瀬、 センター | 春の山野草展、秋の盆景展 | (※中止) |
| | キャベツ餅MUSIC LIVE 2020 | (※中止) |
| | 公園は僕らの宝島 “逢瀬の森で遊ぼう” | もりの案内人の会県中支部と連携し、ナイトオーク体験を行い、自然観察会（1/23 コロナ中止）、木の実のリースづくり体験会を開催。8/1 午前・午後、8/22、9/8、3/14 全6回（5回）、参加者数139名。 |
| | 逢瀬公園秋の感謝祭 | (※中止) |
| 民家園 | 縁側の山野草展・即売会 | (※中止) |
| | 民家園ふれあい祭り | 古民家を利用したキーワードラリー、地元産新そばの販売、劇団公演、科学実験など市民団体と協働で開催。11/1、参加者数1,668名。 |
| | 伝統工芸等体験会 | (※中止) |

(※中止)：新型コロナウイルス感染拡大の影響による中止

3) 地域連携によるレクリエーション普及指導事業

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、「中学生ドリームアップ事業」「いきいき交流通学合宿の受け入れ」など多くの事業が中止となったが、感染防止対策を行い、地域の自治会や商工会等の団体と協働で「緑と花のあふれるまちづくり」等様々なイベントを開催し、地域の活性化に取り組んだ。

| 場 所 | 事 業 名 | 内 容 |
|-----|--------------------------------------|-------|
| あづま | 「中学ドリームアップ事業（職場体験活動）」の生徒受け入れ（市内各中学校） | (※中止) |

| 場 所 | 事 業 名 | 内 容 |
|-----|--------------------|---|
| あづま | ボランティアとの協働による公園づくり | <p>イベント参加者の対応を主とするあづまボランティアと協働し公園イベントを開催した。 (2回、参加者数 14名)</p> <p>環境整備の一役を担う公園ボランティアの人材育成を目的に、緑地管理の知識や技術指導を行うと共に企業団体の社会貢献活動の場となる機会を提供した。みどりのボランティア(7回、参加者数 64名)、みどりのサポーター(7回、参加者 21名)、うつくしま園芸福祉の会(2回、参加者数 17名)</p> <p>さらには、あづま総合運動公園内で活動する3つのボランティアグループの活動を広く紹介し、新たなボランティアを募ることを目的としたボランティア通信「ボランティアあづま〜れ No.2」を作成し、ホームページに掲載した。</p> |
| | あづまバラ愛好会の活動 | ローズコンシェルジュとともに、バラ園を学ぶ場として活用し、技術指導などを行っている。班活動、自主活動を含め(28回開催)。参加者数(1,048名)。 |
| | いきいき交流通学合宿の受け入れ | (※中止) |
| | あづま絵本ぶんこの活用 | 幼児体育室脇に、絵本を自由に楽しむことのできるコーナーとして「あづま絵本ぶんこ」を設けた。また、絵本の管理、消毒液の設置等コロナ対策を適切に実施。 |
| 空 港 | 空港公園まつり | (※中止) |
| | 花のまちづくり推進事業 | 市民が参加して栽培した花苗で地域環境の美化活動や地域おこしを行うことを目的に、4月から10月まで8回、延87名が参加し、4,000ポットの花苗を地域に寄贈。 |
| | YOSAKOI in 空港公園 | (※中止) |
| | 十五夜茶会 | (※中止) |

| 場 所 | 事 業 名 | 内 容 |
|--------------|-----------------------------|---|
| 逢 瀬、 センター | 逢瀬公園さくらまつりの開催 | (※中止) |
| | 周辺の小学校施設との連携強化 【コロナ代替事業】 | 周辺の学校施設と連携して、視察の受け入れやみどりの体験会等を積極的に行った。参加者 130 名 |
| 民家園 | 民家園つるし雛&荒井寒ざらしそば祭り | (※中止) |
| | 古民家のお茶会 | (※中止) |

(※中止)：新型コロナウイルス感染拡大の影響による中止

4) サイクルスポーツ広場事業

職員のマスクや手袋の着用、消毒液の配置等、新型コロナウイルス感染防止対策を実施したうえで、変わり種自転車や一輪車、バッテリーカーやそり(無料)の貸出を行った。

無料開放日を設け、家族団欒と子どもたちの健康増進の場の提供に努めた。

利用者数は、延べ 267,526 名、有料自転車等利用者数は 168,774 名、バッテリーカー利用者数 24,733 名であった。(あづま)

なお、今年 1 月からは、気温の低下と積雪により利用者数が大きく減少する冬期間(12月~2月)の平日営業を休止した。

(3) 体力の増進事業

| 場 所 | 事 業 名 | 内 容 |
|-----|-----------|---|
| あづま | 軽運動室の無料開放 | 震災後、子どもたちの健全育成や体力増進を応援するため、小学生以下を対象に、本来有料施設である軽運動室を無料開放。なお、新型コロナ対策として人数制限や換気、消毒等を行った。利用者数 14,949 名。 |

(4) その他の事業

1) 文化伝承事業

七夕、風鈴やハロウィン、クリスマスなど、季節にふさわしい室内展示や生活・文化を伝承する通年の行事を開催した。

| 場 所 | 事 業 名 | 内 容 |
|--------------|--------------------------|---|
| あづま | 季節感を創出する伝統文化の展示 | 季節に合わせて、七夕飾りと風鈴、お月見、ハロウィン、クリスマス飾り、団子さしかざり、おひなさま展示 |
| 空 港 | 伝統行事を楽しむ | 七夕の短冊飾り、クリスマスツリー飾り、おひな様飾りを地域の子ども園園児等と制作し、エアフロントエリア休憩所に展示。7月、12月、2月（うち7月は※中止、2月は新型コロナウイルス感染拡大防止としてこども園が不参加であったが園で作成ののち展示）、参加者数 60名 |
| 逢 瀬、 センター | 季節を感じる展示・飾り付け | 四季の移り変わりを感じさせる飾り付けを行った。七夕、風鈴の設置、ハロウィン飾り、木の実細工展示、クリスマスツリー、団子さし飾り展示設置。 |
| 民家園 | 年中行事・体験行事・実演行事・ボランティアガイド | (※中止) |
| | 全国のだるま展示会・絵付け体験 | 「全国のだるま展示会」のみ実施。 |
| | お正月遊び体験 | (※中止) |

(※中止)：新型コロナウイルス感染拡大の影響による中止

2 都市公園並びにスポーツ・レクリエーション及び歴史・文化・自然に関わる施設の管理運営事業【公益目的事業】

(1) 指定管理施設

1) 指定管理者としての施設の維持管理業務

| 施設名 | 面積 (㎡) | 維持管理施設 |
|-----------|--------|-------------------------------------|
| あづま総合運動公園 | 88.2 | 総合体育館ほか有料施設 11施設 |
| | | 巨石広場ほか無料施設 10施設 (クライミングウォールを含む。) |
| 福島空港公園 | 52.1 | 庭球場ほか有料施設 4施設 |
| | | 日本庭園ほか無料施設 9施設 |
| 逢瀬公園 | 17.3 | 桜の広場ほか無料施設 5施設 |
| 総合緑化センター | 16.5 | 管理棟 1施設 |
| | | 日本庭園ほか無料施設 17施設 |
| 福島市民家園 | 11.0 | 古民家 11施設 |
| | | 展示館、管理棟、休憩棟 3施設 |

(2) 施設管理運営事業

1) 定期的な巡視

安全・安心な施設を提供するため、定期的な巡視を行い、異状があった場合は適切な対応に努めた。(あづま、空港、逢瀬、センター、民家園)

2) 点検作業

適正な施設の維持管理と点検作業の体系化を図るとともに、遊具の日常管理や保守点検に努めた。(あづま、空港、逢瀬、センター、民家園)

3) 修繕計画

有資格者の職員による施設点検を行い、更新などの修繕計画を作成した。併せて、福島県などの施設管理者に予算確保のための資料として提出した。(あづま、空港、逢瀬、センター、民家園)

4) 災害等の対応

来園者の安全確保や不法行為の防止及び災害等の不測の事態に備えるために、避難誘導訓練や普通救命講習などを実施した。(あづま、空港、逢瀬、センター、民家園)

5) 放射線量測定

園内各施設の放射線量を定期的に測定し、ホームページや掲示板への掲示により利用者に情報を提供した。(あづま、空港、逢瀬、センター、民家園)

6) 利用者へのサービス

公園内の季節の見どころに可動式ベンチを設置（あづま）

7) 公園野良ネコの現状把握と対策

園内に生息する野良ネコの一斉調査を引き続き実施し、生息地の把握や生息数の把握に努めた。また、公園の捨て猫問題に取り組む関係者から、捨て猫の情報や里親さがし状況について聞き取りを行った。

調査において餌やりでの問題も増えており、今後の対応について看板の内容の見直しや、関係団体との連携を進めたい。（あづま）

8) 古民家等の適切な管理

貴重な古民家及び民俗資料を次世代に引き継いでいくため、適切な管理に努めた。（民家園）

9) 受動喫煙防止キャンペーン

子どもたちやタバコを吸わない人をタバコの煙から守るため、既存の喫煙所の見直しと喫煙所を除く公園内全てにおける全面禁煙の徹底に取り組んだ。

10) あづま総合運動公園燃料電池保安管理・PR 業務（あづま）

燃料電池保安管理・PR 事業を受託し、水素燃料電池システムによる発電を開始するとともに、施設の管理と PR 事業を進めた。

- ① 水素利活用発信・・・水素燃料電池 PR パンフレット等の作成及び、遠隔監視業務
- ② 水素設備点検・・・高圧ガス保安法定点検業務
- ③ 各種点検及び燃料電池 PR・・・日常点検、施設案内

11) 都市公園トイレ環境改善

新型コロナウイルス感染防止対策と施設の利便性向上を目的に、施設内外のトイレについて、洋式化及び手洗い用自動水栓への改修工事を進めている。

12) 園内案内看板の見直し改修【新規】

古くなった案内板などを現状にあった内容に改訂し、新たに看板を設置した。（逢瀬、センター）

13) 日本庭園の池の水質浄化と滝の流れ【新規】

水質の浄化を目的に池の清掃を徹底するとともに水中ポンプを改修し、滝の水をこまめに流すなど利用者へのサービス向上に努めた。（センター）

(3) 緑地管理事業

- ① 各植物の特性に配慮した植栽管理に努めた。
(あづま、空港、逢瀬、センター、民家園)
- ② 生育状況や利用に応じた適切な芝生管理に努めた。(あづま、空港)
- ③ 自然環境に配慮した植生管理、景観性に配慮した植栽管理に努めた。(あづま、空港、逢瀬、センター、民家園)
- ④ 貴重な植物の保護に取り組んだ。(あづま、逢瀬、センター)
- ⑤ 季節毎に楽しめる草花管理、自然美に配慮した下草管理、意匠性と自然美を合わせた植栽管理に努めた。(あづま、空港、逢瀬、センター)
- ⑥ 日本庭園において日本らしさ、郷土性、季節感の感じられる緑地管理に努めた。
(空港)
- ⑦ 樹木の枯れ枝などを巡視で発見し剪定を迅速に行った。(あづま、空港、逢瀬、センター)
- ⑧ とうほう・みんなのスタジアムの芝グラウンドにおいてプロスポーツ利用に配慮した芝生補修を迅速に行った。(あづま)
- ⑨ 【新規】本館の外壁塗装工事によって本館前の花壇が無くなったことから、新たに花壇整備を行った。(センター)

(4) 有料施設管理事業

- ① 有料施設の適正な利用受付及び貸出業務を行うことにより、公平・公正な貸出に努めた。(あづま、空港、センター)
- ② 有料施設の公平・公正な貸出を確保するため利用者会議を開催し、有料施設の年間利用計画を策定した。(あづま、空港：書面開催)

(5) 指定管理施設の利用者数

大会やイベントの利用者数が公園全体の利用者数の多くを占めるあづま総合運動公園では、新型コロナウイルス感染拡大の影響により集客力のある興行イベントや大会等が中止、あるいは規模を縮小しての開催となったことで、東日本大震災直後(平成23年度)の115.7万人を下回り、前年度の約58%の96.4万人(約70.7万人減)となった。

体育館では前年度の約42%(約20.5万人減)、とうスタでは約41%(4.9万人減)と大幅に減少した。前年度、改修工事のために9月まで利用できなかったあづま球場では約101%とほぼ横ばいとなった。また、散策利用その他利用者数は約71%(約16.6万人減)と減少した。

福島空港公園では、庭球場や健康づくりのためのウォーキングなどの屋外の個人参加型のスポーツ、家族単位でのピクニック、散策等のレクリエーションの利用は多く見られたが、「空港公園まつり」や「福島空港公園 handmademarket ソライチ」などの

イベントが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止となったほか、施設の利用再開後においても、感染防止対策による大会の規模縮小等があったことから全体として利用者数は減少し、前年度の82%（9.6万人減）となった。

逢瀬公園・緑化センターでは、春の「さくらまつり」や秋の「キャベツ餅 MUSIC LIVE」などのイベントは同様に中止となったが、屋外レクリエーション志向の高まりもあり、一般散策者の利用が増加し前年度以上の利用者数となり、全体としては前年度に対し約7.7%（約1.4万人）の増加となった。

民家園においては、年中行事等イベントのほとんどが中止となったが、民家園がロケ地となったNHK朝ドラ「エール」の放送の効果、旧広瀬座口を新たに増設、加えてコロナ禍において気分転換や運動不足の解消等を目的とした一般散策者の利用増などにより、全体としては前年度に対し約55%（約1.8万人）の増加となった。

（単位：人）

| 公園名 | H24 | H25 | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | R元 | R2 |
|-------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| あづま | 1,890,242 | 1,507,945 | 1,772,697 | 1,839,769 | 1,750,177 | 1,984,697 | 1,786,897 | 1,670,180 | 963,555 |
| 空港 | 420,787 | 474,787 | 438,047 | 508,824 | 519,573 | 529,353 | 530,967 | 524,424 | 428,480 |
| 逢瀬、 センター | 139,544 | 163,554 | 180,757 | 183,637 | 169,762 | 163,448 | 153,633 | 182,717 | 196,853 |
| 福島市 民家園 | 33,380 | 36,183 | 38,047 | 46,169 | 40,515 | 35,432 | 35,875 | 33,228 | 51,566 |
| 合計 | 2,483,953 | 2,182,469 | 2,429,548 | 2,578,399 | 2,480,027 | 2,712,930 | 2,507,372 | 2,410,549 | 1,640,454 |

3 都市公園等に関する情報の収集、広報、調査研究及び利用促進並びに地域づくりに関する事業【公益目的事業】

（1）都市公園等の情報収集事業

- ① イベント開催時に公園利用者へのアンケート調査を実施し、分析結果を次の開催に反映した。（あづま〔ウォーク大会時に実施。回収数 800件。〕）
- ② 公園管理運営に対する満足度を調査するためのアンケートを意見箱などで収集した。
- ③ 大会開催時等に利用団体等から施設や運営についての情報収集を行った。
- ④ 他の類似公園の管理運営情報の収集を行った。

（2）都市公園等の広報事業

- ① マスメディアを活用した広報活動を積極的に展開した。（あづま、空港、逢瀬、センター、民家園）
- ② スポーツ団体、学校、各種団体等に対し施設利用誘致活動の推進に努めた。（あづま、空港、逢瀬、センター、民家園）
- ③ 協会発行の広報誌配布による県民への情報提供を行い、利用促進に努めた。（あづま、空港、逢瀬、センター、民家園）

- ④ 園内で見られる花を図鑑として作成し、これを花の時期に掲示することにより、みどりの普及・啓発に努めた。(あづま、逢瀬、センター、民家園)
- ⑤ ホームページの内容の充実化など全面的なリニューアルを実施し、情報発信の強化と利用者への利便性向上を図った。(あづま、空港、民家園)
- ⑥ インスタグラムを活用し、園内の開花状況などのみどりに関する情報を随時提供した。また、公園の健康づくりを楽しむための情報や公園の魅力を動画で紹介する「公園の魅力動画ライブラリー」、公園フォトコンテスト入賞作品から写真をピックアップして紹介した「公園の魅力フォトライブラリー」等を掲載した。(あづま)
- ⑦ ツイッター等 SNS の積極的な活用を図り、公園の四季などの魅力、イベント開催などのリアルタイムな情報、混雑時の駐車場の空き状況の情報をきめ細やかに発信した。(あづま、空港、逢瀬、センター、民家園)
- ⑧ 電光掲示板やデジタルサイネージ（電子看板）を活用し、リアルタイムに情報を提供した。(あづま)
- ⑨ 植物学習の場を提供するため、園内の植物名板の充実を図った。(あづま、逢瀬、センター、民家園)
- ⑩ 年間を通し、公園で開催される大会やイベント内容を園内掲示板へ掲示し、情報提供を行った。また、公園に対する意見・要望への回答についても掲示した。(あづま、空港、逢瀬、センター、民家園)
- ⑪ 利用者からの要望に対する回答や公園の情報を発信する「公園情報コーナー」を休憩所に設置した。(逢瀬、センター)
- ⑫ 例年行っている公園及び隣接する河川沿いの桜の維持を目的とした新名所「逢瀬さくらの里」づくりは、新型コロナウイルス感染予防対策によって自粛している。(逢瀬、センター)
- ⑬ 地域団体「逢瀬さくらの里」と共催の「逢瀬さくら講座」は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止した。(逢瀬、センター)

(3) 都市公園等の調査研究事業

全国公園協議会現地検討会へ職員を参加させ、情報収集や情報交換を行った。

(4) 都市公園等の利用促進事業

1) 施設の特性を活かした事業の推進

- ① 距離表示板の設置やマップ増刷により、園内ウォーキングコース、ジョギングコースの充実を努めた。(あづま、空港、逢瀬、センター)
また、各ポイントの標高、コースの所要時間や見どころ、消費カロリー（おにぎり何個分）など新たな情報を加えたマップを新たに作成し、コロナ禍における「公園で健康になろう」の充実を努めた。(あづま)
- ② 公園案内、スポーツ指導、イベント補助、年中行事の伝承などにおいて、ボランティア活動の場を提供した。(あづま、空港、逢瀬、センター、民家園)

- ③ あづまボランティア、みどりのボランティア、みどりのサポーター、あづまバラ愛好会、福島空港公園ボランティア、おうせボランティアの育成を図るとともに活動の場を提供した。(あづま、空港、逢瀬、センター)
- ④ 次の有料施設を個人利用者に無料開放する「個人利用サービスデー」を実施した。
(あづま、空港)
- ア あづま総合運動公園 (8/23、10/11、12/12 年3回)
※緊急事態宣言による臨時休園のため5/5は中止
プール、体育館トレーニング室及び体育室、陸上競技場(トレーニング室含む)、庭球場、サイクルスポーツ広場。利用者数は6,928名。
- イ 福島空港公園 (毎月1回)
庭球場。利用者数は341名。
- ⑤ 学校や幼稚園等の遠足・見学等を随時受け入れた。なお、雨天の際には休憩の場として、屋内施設を提供した。(あづま、空港、逢瀬、センター、民家園)
- ⑥ 子どもたちの体力増進づくりを目的に、軽運動室を引き続き無料開放した。
(あづま)
- ⑦ 庭球場において、利用者ニーズを踏まえ、夏の涼しい時間帯での利用を提供する「夏季週末早朝営業」に取り組んだ。6月から8月の土日祝日、朝6時から利用できるもので、29日間で2,693名の利用があった。(あづま)
- ⑧ 公園利用の促進を図るとともに芝グラウンドのプロスポーツ利用に対応するため、3月～11月末まで使用可能とするよう芝生の養生管理に努めた。(あづま)
- ⑨ NPO法人のスポーツクラブを支援し、協働でカルチャー教室や健康づくり教室の開催、シニアスポーツ相談室の運営を行った。(あづま)
- ⑩ ヤマユリ群生地地の保全を図るとともに、アジサイ園、シャクナゲ園、バラ園の植物園としての適切な管理に努めた。(あづま)
- ⑪ バラの愛好者が集い、公園内のバラ園を活用して栽培技術などを学ぶ「あづまバラ愛好会」の活動を支援した。(あづま)
- ⑫ 一定のルールの下で、一般県民による自由なぎんなん拾いを推奨し、清掃作業の軽減を図るとともに、公園の新たな秋の風物詩となるよう取り組んだ。(あづま)
- ⑬ 公園の特色を活かしたイベントを開催することで、公園の四季を身近に感じていただくとともに、各種植物園(円形花壇、香りのバラ園、ヤマユリ園、アジサイ園)の魅力を発信した。(あづま)
- ⑭ サクラやイチョウなどの公園資源を活用したライトアップを開催し、公園の魅力を発信した。(あづま)
- ⑮ 福島空港公園フットサルコートの特典サービス(年間)(空港)
フットサルコートにおいて、10時間利用で1時間分無料の回数券を発行した。
- ⑯ 日本らしさと四季の演出、公園の新たな魅力の再発見を目的に、日本庭園マツの雪吊りを実施した。(空港)

- ⑰ 利用者からの健康増進のための要望に応え、卓球台を設置し、貸し出し（有料）を行った。（空港）
- ⑱ 条例で休館日となっている第3日曜日も開館し、公園利用者の利便性向上を図った。（センター）
- ⑲ ウォーキングを楽しむ利用者への更なる情報提供の強化として、逢瀬公園坂道健康ウォーキングマップを西駐車場に配置した。（逢瀬、センター）
- ⑳ 新たなランニングコースの設定【新規】
園内利用におけるランニング愛好家の増加を踏まえ、新たにランニングコース整備の企画を行った。（逢瀬、センター）
- ㉑ 公園利用者の利便性の向上と地域連携を目的に開店した「おうせ茶屋」の運営に協力し、同施設は、郷土料理「キャベツ餅」の販売や地域食材を活用した飲食サービスの他、公園や周辺地域の観光情報の提供等にも取り組んだ。今年度は茶屋前の休憩施設等の修繕を行った。（センター）
- ㉒ 植物名板や解説板の増設を行うとともに、公園の冬の風物詩として、事務所前日本庭園のマツに雪吊りを実施し、施設の魅力アップを行った。（逢瀬、センター）
- ㉓ 寄贈されたものを活用して「だるま展示会」を開催し、民家園の利用促進を図った。（民家園）

(5) 都市公園等の地域づくり事業

福島市商工会議所女性部と協力して花苗の栽培や園内の花壇整備を行う「緑と花のあふれるまちづくり連携事業」を再開する等、地域の団体との協働による様々なイベントを開催するとともに、ボランティアの受入れや育成を通し、地域の活性化や地域づくりを担う人材等の育成に取り組んだ。

また、東京オリンピック開催により県内外、国外から訪れる多数の来園者に対し、公園にお越しいただいたことへの感謝の気持ちや福島県とあづま総合運動公園の魅力を印象深く伝えるため、公共空間のデザインを学ぶ地元福島西高校の生徒らの協力を得て「ふくしま&あづまウェルカムボード」づくりに取り組んだ。

| 場 所 | 事 業 名 |
|--------------|---|
| あづま | 「中学ドリームアップ事業（職場体験活動）」の生徒受け入れ（市内各中学校）（※中止） |
| | ふくしま&あづまウェルカムボードづくり |
| | ボランティアとの協働による公園づくり |
| | あづまボランティアの活動 |
| | あづまバラ愛好会の活動 |
| | 緑と花のあふれるまちづくり連携事業 |
| | いきいき交流通学合宿の受け入れ（※中止） |
| | あづまの郷ウォーク大会 |
| | 荒川ミュージアムへの参画（※中止） |
| 空 港 | 第13回空のみちウォーク 2020 |
| | 空港公園まつり（※中止） |
| | YOSAKOI in 空港公園（※中止） |
| | 十五夜茶会（※中止） |
| | 空港公園ボランティア活動 |
| 逢 瀬、 センター | 地域の花いっぱい運動への花苗の栽培提供 |
| | 「安積アルプス出逢いプロジェクト」地域づくりへの取り組み（※中止） |
| | 逢瀬さくらの里づくりへの取り組み（活動自粛） |

（※中止）：新型コロナウイルス感染拡大の影響による中止

4 緑化に関する普及指導、情報の収集及び調査研究に関する事業【公益目的事業】

(1) 緑化推進の普及指導及び情報収集事業

1) 公園資源を活用した緑化推進事業

① 公園資源を活用した「あづま香りのバラ園まつり」は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催は中止とした。

一方、公園の四季を彩るサクラ、イチョウ等のライトアップは継続して開催した。また、「公園の落ち葉プール」で使用した落ち葉を堆肥用として無料配布するとともに、各種体験会を実施し、緑化の推進に努めた。

冬期の光の TREE ページェントでは動物のオブジェを新たに追加するなど魅力アップに努めた。

| 場 所 | 事 業 名 | 実施日 | 参加者数 |
|--------------|---------------------|---|----------|
| あづま | サクラの光のファンタジー | 4/1～4/12 | 739 名 |
| | あづまバラ愛好会の活動 | 4/3～2/12 | 1,048 名 |
| | みどりのボランティアの活動 | 6/5～3/5 | 64 名 |
| | みどりのサポーターの活動 | 6/10～12/12 | 38 名 |
| | あづま「香りのバラ園まつり」 | — | (※中止) |
| | あづまちびっこパーク | 9/26 | 750 名 |
| | イチョウ光のプロムナード | 10/23～11/9 | 10,628 名 |
| | 光の TREE ページェント | 12/11～1/11 | 8,828 名 |
| | 子供たちの自然体験会 | 8/10 | 19 名 |
| | 園内掲示板への花だより情報の掲載 | 年間 | — |
| 空 港 | 空港公園の森ウォーキング | 6/20(※中止)、 12/13 | 65 名 |
| | 花のまちづくり推進事業 | 4/3, 15, 24, 6/11 8/20, 9/10, 17, 10/16 | 87 名 |
| | 空港公園で農体験～野菜づくりを楽しむ～ | 5/14 (※中 止), 10/22 | 70 名 |
| | みどりのカーテン設置 | 5 月～10 月 | — |
| | 空港公園の魅力再発見 | 4/11 | 10 名 |
| 逢 瀬、 センター | みどりに親んでもらうための展示と工夫 | 通年 | — |
| | みどりの日記念花苗無料配布 | — | (※中止) |

| 場 所 | 事 業 名 | 実施日 | 参加者数 |
|--------------|-------------------------------|-----------|-------|
| 逢 瀬、 センター | 山野草展、盆景展 | — | (※中止) |
| | きのこを通して森を学ぶ親と子の環境学習 事業 | 7/26、10/3 | 75名 |
| | 夏休みみどりの絵画募集 | 9/1～9/10 | 6名 |
| | 公園への親しみを管理運営に展開するボラン ティア活動 | 通年 | 144名 |
| 民家園 | みどりのカーテン設置 | 5/19～9/25 | — |
| | 縁側の山野草展 | 6/1、2 | 258名 |
| | 植物見頃情報板及び花図鑑の設置 | 通年 | — |

(※中止)：新型コロナウイルス感染拡大の影響による中止

- ② 緑化に関する知識の向上を目的に、家庭園芸の基礎を学ぶ各種教室や自然とふれあう体験教室を開催し、緑化の普及に努めた。なお、あづまの「みどりの総合講座」は、新型コロナウイルス感染症予防の観点から、当初5月からの開催予定を変更し、9月から開始した。

| 場 所 | 事 業 名 | 実施日 | 参加者数 |
|--------------|---------------------------|---|-------|
| あづま | みどりの総合講座 | 9/4、9/26、10/16、11/14、11/28、 12/12 | 77名 |
| 空 港 | 空港公園自然塾 | 5/23 (※中止)、7/18、9/26、11/21、 1/16 | 110名 |
| | 空港公園子ども生け花教室 | 5/10(※中止)、7/5、10/25 | 50名 |
| | 樹木剪定専門技術研修 | 5/23～24(※中止)、10/24～25 | 20名 |
| | 空港公園みどりの楽校 | 10/7、11/13、1/27 | 90名 |
| | みどりの講座 | 5/15 (※中止) 6/12、7/10、8/7 9/11、10/9、11/27、12/11 | 148名 |
| 逢 瀬、 センター | スローライフを楽しむハブ講座 | 6/11、7/16、7/19、8/23、9/16 | 53名 |
| | 実践で学ぶ庭木の剪定講座 | — | (※中止) |
| | 公園は僕らの宝“逢瀬の森で遊 ぼう” | 8/1、8/22、9/8、10/18、1/23 (※中止)、3/14 | 139名 |
| | 暮らしを彩るみどりと花の講座 | 7/4、10/10、11/14、11/21、12/6 | 56名 |
| | 笑顔広がるにこにこバラ講座 | 6/18、8/20、10/28、11/6 | 51名 |
| | きのこを通して森を学ぶ親と子 の環境学習事業 | 7/26、10/3 | 75名 |
| | 逢瀬さくら講座 | — | (※中止) |

(※中止)：新型コロナウイルス感染拡大の影響による中止

2) 職員が有する能力及び資格を活用した緑の普及指導事業

みどりの専門分野の知識・能力を活用したガーデニング教室、園芸教室等の教室や講座を開催し、みどりの普及啓発に努めた。

| 場 所 | 事 業 名 | 内 容 |
|--------------|------------------------|--|
| あづま | みどりの総合講座（再掲） | 公園の特色を活かし、季節感のあるみどりに触れて学ぶプログラムで講座を開催。なお、開催に際しては新型コロナウイルスの感染拡大状況を踏まえ、開催日を変更して対応。6回、参加者数77名。 |
| 空 港 | みどりの講座（再掲） | 家庭での庭づくりやガーデニングの基礎知識を公園から伝えることを目的に講座を開催。8回（うち1回※中止）、参加者数148名。 |
| 逢 瀬、 センター | 芝生の葉アートを楽しもう | （※中止） |
| | 暮らしを彩るみどりと花の講座 （再掲） | 全5講座のうち2講座は、ガーデニング初心者向けの内容を加え、職員が持つ技術提供を行った。参加者数56名。 |

（※中止）：新型コロナウイルス感染拡大の影響による中止

3) その他受託事業

① グリーンアドバイス事業の受託

あづま総合運動公園・空港公園にグリーン・アドバイス・センターを開設し、一般県民及び市町村、団体から庭木や草花の病害虫の診断や防除指導等、みどりに関する疑問や質問等の相談を有資格者が受け対応した。

| | |
|----------------|--------|
| ・緑地の設計 | 15件 |
| ・樹種選定・特性 | 58件 |
| ・栽培・増殖 | 195件 |
| ・育成管理 | 898件 |
| ・樹勢診断・治療処方 | 6,457件 |
| ・病害虫 | 372件 |
| ・その他 | 31件 |
| 合 計 | 8,026件 |
| 〔うち、相談室内アドバイス〕 | 863件 |
| 〔出張アドバイス〕 | 7,163件 |

4) 情報収集事業

みどりに関する季刊誌や県外の公園情報誌等で情報収集を行った。

(2) 緑化推進の調査研究事業

1) リサイクル事業

- ① 剪定枝や松くい虫被害木はチップパーにより減容化し、堆肥製造装置により堆肥化するとともに、花壇の土壌改良材として利用した。(あづま)
- ② 落葉樹を主とした落ち葉は分別収集し、来年度の花壇用堆肥として再利用するため積み置き保管した。(あづま、空港)
- ③ 剪定枝はチップパーにより減容化し、処分施設内に保管した。(空港、逢瀬、センター)

2) 生態系に配慮した事業

公園内の自然環境を踏まえて、生態系に配慮した緑地管理を実施した。(あづま、空港、逢瀬、センター)

3) 逢瀬公園、さくら守事業

さくらの広場のサクラの樹勢診断とカルテ作成、剪定や土壌改良による樹勢回復を実施した。(逢瀬、センター)

5 その他、この法人の目的を達成するために必要な事業【収益事業】

(1) 都市公園の管理運営のうち、興行に類するものへの貸出に関する事業

1) 興行に類するものへの貸出状況

- ① J3 ユナイテッドホームゲーム (6月27日、7月11・19・25日、8月9日、9月2・9・22・26日、10月7・11・25日、11月8・18・29日、12月13日、3月14・20日 合計18試合)
- ② B2リーグ、ファイヤーボンズ公式戦 (2月27・28日 2試合)

(2) 緑化の推進に関する樹木等調査、緑地造成及び緑地管理の受託事業

1) 緑化の推進に関する樹木等調査事業

- ① 街路樹、緑の文化財等の樹勢診断調査及び保全対策の設計、施工
令和2年度指定天然記念物定期診断業務 (郡山市)
工期：R 2. 12. 1～R 3. 3. 31
- ② 樹木調査診断業務委託 (その1) (双葉町)
工期：R 2. 5. 26～R 3. 2. 19
- ③ 天然記念物西光寺タラヨウ樹勢診断業務 (鏡石町)
工期：R 2. 6. 12～R 2. 10. 31
- ④ 緑の文化財 (妙閑寺の乙姫桜) 保全対策業務 (白河市)
工期：R 2. 12. 4～R 3. 3. 19

2) 緑地の造成及び緑地管理事業

① 福島県立医科大学の緑地管理

福島県立医科大学緑地保全管理業務（公立大学法人福島県立医科大学）

工期：R 2.4.1～R 3.3.31

(3) 利用者への利便性供与を目的とする物品販売等に関する事業

1) 売店等の設置（あづま、空港、センター）

あづまに1箇所のレストラン及び空港に2箇所の常設売店を設置し、利用者への利便性向上に努めた。

また、センターの売店「おうせ茶屋」は4月から11月にかけて営業し、利用者の利便性の向上と地域連携に努めた。

スポーツ大会、イベント開催時の臨時売店などの設置

| | 臨時売店 | フリーマーケットなど |
|------|----------|------------|
| あづま | 延べ(197店) | 0 |
| 空港 | 0 | 0 |
| センター | 0 | — |

2) 自動販売機の設置

| | 飲料水 | 飲食物 |
|------|-----|-----|
| あづま | 43台 | 8台 |
| 空港 | 7台 | — |
| センター | 2台 | — |

3) スポーツ用品の販売、運動靴の貸出し（あづま、空港）

卓球ボールやバドミントンのシャトル、テニスボール等のスポーツ用品の販売、運動靴の貸出しを行い、利用者への利便供与に努めた。

Ⅲ 役員等に関する事項

1 理事、監事の状況

| 役 職 | 期 首 氏 名 | 変更事由等 | 補充選任等 | 変更事由等 (令和3年3 月31日) | 〈参考〉補充選任 (令和3年4月1日) |
|-----|------------|-------|-------|--------------------------|------------------------|
| | | | 氏 名 | | 氏 名 |
| 理 事 | 大 河 原 聡 | | | | |
| 理 事 | 石 森 春 男 | | | | |
| 理 事 | 佐 賀 勝 | | | 辞任による | 渡 辺 良 夫 |
| 理 事 | 新 谷 崇 一 | | | | |
| 理 事 | 尾 形 幸 男 | | | 辞任による | 滝 田 勝 彦 |
| 理 事 | 佐 藤 喜 彦 | | | 辞任による | 須 藤 淳 一 |
| 理 事 | 諏 江 勇 | | | | |
| 理 事 | 丹 治 俊 宏 | | | | |
| 理 事 | 森 崎 俊 紘 | | | | |
| 理 事 | 若 松 伸 司 | | | | |
| 監 事 | 齋 藤 忠 | | | | |
| 監 事 | 新 妻 勝 幸 | | | | |

2 評議員の状況

| 役 職 | 期 首 氏 名 | 変更事由等 | 補充選任等 | 変更事由等 (令和3年3 月31日) | 〈参考〉補充選任 (令和3年4月1日) |
|-----|------------|-------|-------|--------------------------|------------------------|
| | | | 氏 名 | | 氏 名 |
| 評議員 | 遠 藤 徳 良 | | | | |
| 評議員 | 追 分 富 子 | | | | |
| 評議員 | 岡 崎 拓 哉 | | | 辞任による | 石 本 仁 |
| 評議員 | 小 川 宏 | | | | |
| 評議員 | 小 林 真 | | | 辞任による | 佐 藤 隆 広 |
| 評議員 | 齋 藤 卓 夫 | | | | |
| 評議員 | 七 宮 弘 | | | | |
| 評議員 | 本 多 勉 | | | | |
| 評議員 | 増 田 聡 | | | | |
| 評議員 | 矢 吹 貢 一 | | | | |

3 常勤役員の異動状況

※参考（令和3年4月1日付け選任）

旧：常務理事 佐賀 勝（令和3年3月31日辞任）

新：常務理事 渡辺 良夫（令和3年4月1日新任）

4 常勤役員の兼職状況

| 兼 職 名 | 兼 職 者 |
|----------------------------|-----------|
| (公社)福島県森林・林業・緑化協会理事 | 理事長 大河原 聡 |
| (公財)福島県スポーツ振興基金理事 | 〃 |
| 福島県体育施設協会会長 | 〃 |
| (公財)日本体育施設協会評議員（R2.6.17まで） | 〃 |

5 理事会及び評議員会の開催状況

| 開催月日 | 提 出 議 題 |
|--|---|
| 第1回理事会 令和2年7月10日 杉妻会館 出席理事 9名 出席監事 2名 | 議案第1号 令和元年度事業報告及び附属明細書について 議案第2号 令和元年度決算に係る財務諸表及び附属明細書について 議案第3号 令和2年度第1回評議員会の招集（案）について |
| 第1回評議員会 令和2年7月27日 杉妻会館 出席評議員 9名 出席監事 2名 | 報告事項1 令和元年度事業報告及び附属明細書について 議案第1号 令和元年度決算に係る財務諸表及び附属明細書について |
| 第2回理事会 令和3年1月21日 杉妻会館 出席理事 9名 出席監事 2名 | 報告事項1 令和2年度職務執行状況報告について 議案第1号 令和2年度補正予算(案)について 議案第2号 令和3年度事業計画(案)について 議案第3号 令和3年度収支予算(案)について 議案第4号 公益財団法人福島県都市公園・緑化協会就業規則の一部改正(案)について 議案第5号 公益財団法人福島県都市公園・緑化協会職員給与規程の一部改正(案)について 議案第6号 令和2年度第2回評議員会の招集（案）について |

| 開催月日 | 提出議題 |
|---|--|
| 第2回評議員会 令和3年2月3日 杉妻会館 出席評議員 10名 出席監事 1名 | 報告事項1 令和2年度職務執行状況報告（4月～12月）について 報告事項2 令和2年度補正予算について 報告事項3 令和3年度事業計画について 報告事項4 令和3年度収支予算について |
| 第3回理事会 令和3年3月23日 決議の省略による方法 同意理事 10名 同意監事 2名 | 議案第1号 令和2年度第3回評議員会の開催(案)について |
| 第3回評議員会 令和3年3月31日 決議の省略による方法 同意評議員 10名 | 議案第1号 評議員の補充選任(案)について 議案第2号 理事の補充選任(案)について |

IV 特記事項

なし。

附属明細書について

令和2年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので附属明細書は作成しない。

令和3年3月

公益財団法人福島県都市公園・緑化協会